

まちかど ま インタビュー



認定こども園建設開始

認定こども園や子育て支援に望むことは!!

認定こども園の建設工事が、平成31年4月開園に向けて、スタートしました。

広野町は、子どもたちの明るい未来のために、教育や子育て支援の環境を整えています。

この取り組みに望むことや、期待することなどをお伺いしました。



高木 さおり さん
(下浅見川)

核家族が進み、夫婦ともにも共働きが増えた昨今、0歳児から預けられる認定こども園の存在はとても有り難いと思います。

我が家にも、小学生の子どもが2人居ますが、未就学児の頃は避難先で生活をしており幼稚園に通わせていたため、自分の就労の際はとても苦労しました。

今後、小さなお子さんが居る家庭でも働きやすい環境にもっと子育てがしやすい環境になっていくことを期待しています。



木幡 尚子 さん
(下北迫)

保育所や幼稚園と違い、すべての子育て家庭を対象に、0歳児から預かってもらえる事や、幼稚園教育を受けられる事、また子育て相談や親子の集いの場としても期待しています。

3歳以下の乳児と幼児が同じ園内で過ごすため社会性が育ちやすい環境になると思います。

そして、小学校入学までにいっぱいお友達が出来れば良いですね。

編集後記

遠方の友へ久しぶりに便りをしたくなり、書き出しの文言を考えってみました。

「葉桜となり晩春の風情を感じるこの頃です」「若葉の緑が美しい季節となりました」などなど昔から使われている一般的な慣用句しか頭に浮かばず、自分の知識の無さに苦笑してしまいました。

それにしても、長い寒さから暖かい春を迎えると、ロウバイ、レンギョウ、万作、そして桜と花々が次々と咲き花好きの人達にとっては楽しい季節でもあります。

新年を迎える一月と新年度を迎える四月とは気持ちを新たにすると共通点はあるけれど、四月の方が気持ちが浮き立ち、これからの一年間に希望が感じられ

ます。

卒業や別れは又立ちの季節でもあります。心の中でそれぞれの人生の新しい門出を祝福しています。

(塩 史子)



発行・編集責任者

議長 黒田政徳

広報委員会

委員長 塩 史子

副委員長 阿部憲一

委員 北郷幹夫

委員 小磯利雄

委員 遠藤 浩

次の定例会は6月です